

地域計画

策定年月日	令和7年3月27日
更新年月日	
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	今治市 (382027)
地域名 (地域内農業集落名)	宮窪地区 (友浦下、友浦上、久米、戸代、向、浜、陸、中村、鶴島、余所国、早川)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	469 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	149 ha
② 田の面積	73 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	396 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

人口減少や高齢化による担い手不足、後継者不足のため、農業者が減少している。
 農業者の減少・高齢化に伴い平地の条件のよいところは耕作するが、山の方は耕作放棄地が増加している。
 新規就農者の確保・育成、労働者の確保が課題である。
 作業効率を上げるため、車や機械が入れるように園地を改良し、高収益の柑橘へ転換している。
 有害鳥獣を積極的に捕獲しているため、被害が減少している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

経営体の法人化を目指す。
 新規就農者・後継者を育成し、担い手を確保するとともに、地域内外から農地を利用する者を確保する。
 柑橘が主要な作物であるが、より高収益な作物への転換を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手と農地所有者の意見を聞きながら農地の集約化を図る。小規模な農地等集約が難しい農地は、所有者等が耕作し、耕作放棄地を発生させないよう農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	1	%	将来の目標とする集積率
			1 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
関係機関が連携して担い手と農地所有者をマッチングし、集約化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に面積の拡大を図るとともに、担い手への農地集積を進める。地域の人を優先して集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の意向に応じて段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
現在のところ基盤整備事業に取り組む予定はない。 農業の生産効率の向上を図るため、用排水や農道の整備、農地の大区画化などの基盤整備について今後、検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、経営意向を踏まえた担い手として育成していくため、市・県・JAが連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
防除、収穫など、省力化が図られる作業は、農業支援サービス事業者を積極的に活用する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)									
☒	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他
【選択した上記の取組内容】									
①鳥獣被害防止対策 ・被害状況を把握し、侵入防止柵や檻の設置等を検討して、被害防止の構築等に取り組む。									

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		果樹・野菜	1.5 ha	ha	果樹・野菜	1.5 ha	ha	268	
認農		施設野菜	1.0 ha	ha	施設野菜	1.0 ha	ha	272	
認農		柑橘	1.0 ha	ha	柑橘	1.0 ha	ha	271	
到達		果樹	0.8 ha	ha	果樹	0.8 ha	ha	273	
到達		柑橘	0.4 ha	ha	柑橘	0.4 ha	ha	269	
利用者			149.0 ha	ha		149.0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			152.2 ha	0 ha		152.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業者は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。